

市政を問う

3会派と12名の議員が質問



◆創生小美玉……………P10

(1) 茨城空港を中心とした交流人口の創出を
その他の質問 6点

◆真政会……………P11

(1) 市近隣に出生できる病院がないが見解を伺う
(2) 子どもの居場所整備は
(3) 国際性豊かな人材育成

◆令和会……………P11

(1) そ・ら・らの指定管理移行へ期待する
(2) 公共ホールの今後の運営
(3) 消防署の統合再編

◆村田 春樹 議員……………P12

(1) 不妊検査・不妊治療費補助対象年齢の緩和
(2) 通学路の安全確保

◆真家 功 議員……………P12

(1) 台湾との交流事業をどのように進めていくか
(2) 高齢者支援について

◆田村 昌男 議員……………P13

(1) 補聴器購入助成金の導入を
(2) ため池・河川の整備

◆宮内 勇二 議員……………P13

(1) 八幡池周辺の今後のビジョン
(2) 農業サポーター制度の導入

◆山崎 晴生 議員……………P14

(1) 防災減災意識の醸成と広域防災訓練の実施を
(2) 認知症施策の現状

◆長津 智之 議員……………P14

(1) 誘致企業「朝日航洋」新拠点の立地について

◆谷仲 和雄 議員……………P15

(1) 地域移行期における学校部活動について
(2) 消防行政について

◆内田 和彦 議員……………P15

(1) 災害被害を最小限に災害関連死ゼロを目指す
(2) 円滑な健康診断実施

◆石井 旭 議員……………P16

(1) 地域おこし協力隊員の募集採用状況は

◆戸田 大我 議員……………P17

(1) 子どもの遊び場（屋内を含め）の整備を
(2) 救急医療の体制強化を
その他の質問 1点

◆鬼田 岳哉 議員……………P17

(1) 八潮市の下水道管陥没事故を受けて
(2) 男女共同参画と地方創生 2.0

◆福島 ヤヨヒ 議員……………P17

(1) 学校給食費無償化の安定的継続を
(2) 市の担うべき交通手段は
(3) 赤ちゃん全てに祝い金を

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

一般質問とは…市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。



しま せいちょう
島田 清一郎

茨城空港を中心とした交流人口の創出を

そうせいおみたま
創生小美玉



録画映像

答弁 新まちづくり構想を核に事業を推進する

問

茨城空港周辺の宿泊企業誘致調査（☑）結果に関して伺う。

答

市長 周辺地域を訪問する観光客やアウトドア需要などに可能性があると判明した。ターゲットを絞り、民間宿泊施設の誘致活動を展開していく。

問

「茨城空港のあり方検討会（☑）」における市の考えは如何に。

答

市長 新まちづくり構想の交流拠点等と空港の連携を強化し、一層の地域振興が図れるよう、県に対し、より緊密な協力体制の構築を要請していく。

問

空港の定期便拡大を促えた人流創出の方策は。

答

市長 新まちづくり構想の百里飛行場拠点や空のえき「そ・ら・ら」拡張の早期実現を目指しながら、令和7年度には、空のえき「そ・ら・ら」へサイクルステーションを建設し人流創出を図る。

問

新まちづくり構想の百里・羽鳥の拠点整備の進捗は。

答

市長 令和7年度において新たに、本案件を所管する「特定プロジェクト推進課」を設置し、一層の事業推進を図る。具体的に百里は実施計画の策定、羽鳥は基本設計に着手する。

問

空のえき「そ・ら・ら」の運営に関して伺う。

答

市長 令和6年度に市場調査を実施し、課題等の洗い出しを行った。令和7年度は、指定管理者の募集を行い、令和8年度中の指定管理者移行を目指し、準備を進めていく。

◎その他の質問

- ・令和7年度予算の核となる事業及び事業の取捨選択・効率化
- ・台湾淡水区との国際交流事業の今後の展開
- ・小中学校の給食無償化事業の継続に向けて
- ・スポーツ振興の核となる競技
- ・市長所信表明における4つの中長期ビジョンの現在地
- ・農産物ブランド化の進展

☑ 宿泊企業誘致調査…空港アクセス線沿道へのホテル誘致に関し、基礎的情報を調べるもの

☑ 茨城空港のあり方検討会…空港の役割や将来ビジョンなどあり方を検討する※小美玉市長も委員となっている



すずき しゅんいち
鈴木 俊一

市近隣に出産できる病院がないが見解を伺う

しんせいがい
眞政会



録画映像

答弁 県が責任を持って周産期医療を提供していく



▲美野里地域食材供給施設

答 市長 子どもの居場所整備について、美野里地域食材供給施設

問 子どもの居場所整備の具体的な内容について伺う。

子どもの居場所整備は

答 市長 本市が含まれる水戸保健医療圏の病院再編に向けて、県が責任をもって周産期医療を提供していく方針が示されていることから、広域での医療体制を基本に、市民が安心して必要な医療を受けられることができる体制づくりを目指す。

問 小美玉市周辺では子どもを産める医療機関がない。周産期医療について市の見解を伺う。

答 市長 本市が含まれる水戸保健医療圏の病院再編に向けて、県が責任をもって周産期医療を提供していく方針が示されていることから、広域での医療体制を基本に、市民が安心して必要な医療を受けられることができる体制づくりを目指す。

設(☑)を行政施設として再整備するものである。不登校児生徒の支援のほか、経済困窮世帯に対する学習支援、被虐待児などに対する相談支援の機能を有する施設として整備していく。

問 国際性豊かな人材育成

答 市長 全ての外国語の授業で外国語指導助手が関われるように2名増員する。また、来年度、中学校の外国語の授業で台湾の中学生とのオンラインでの交流を予定している。台湾の中学生との交流に関しては、教育旅行で本年4月に本市へ訪問予定で、その際、本市の中学生との交流機会を設ける。

☐ 美野里地域食材供給施設…みの〜れ敷地内にあるレストラン跡地 ※旧キャトル・セゾン



かとり けんいち
香取 憲一

そ・ら・らの指定管理移行へ期待する

れいわか
令和会



録画映像

答弁 民間活力を最大限に活かした経営構築を目指す

問 公共ホールの今後の運営

莫大な維持運営費のかかる3つの公共ホールの統廃合の見解は。



▲空のえきそ・ら・ら

答 市長 指定管理においてレストラン経営もお願いする予定であり、先行して働きかけを行っている。

再質 核となるレストランについてはどうなるのか。

答 市長 令和7年度に指定管理者の募集、令和8年度に制度移行を目指す。民間活力を最大限活かして新たな交流拠点となるような経営体制の構築を目指すしていく。

問 そららの指定管理者(☑)への移行及び拡張計画について伺う。

答 市長 令和7年度に指定管理者の募集、令和8年度に制度移行を目指す。民間活力を最大限活かして新たな交流拠点となるような経営体制の構築を目指すしていく。

総括して「将来的に避けて通れない問題や課題」に対し、持続的な行政運営を目指して大局的見地を持って決断をしていきたい。

会派要望

答 市長 統合再編により火災・救急の現場までの距離等の弊害も生じ、新しい庁舎建設等課題も多いが、一つ一つ丁寧な慎重に検討して地域の安全を最優先に考え、最適な消防体制の構築に努めていく。

問 消防本部の借地解消と消防職員の現場での稼働率向上を目指し、消防署の統合再編への見解は。

答 市長 統合再編により火災・救急の現場までの距離等の弊害も生じ、新しい庁舎建設等課題も多いが、一つ一つ丁寧な慎重に検討して地域の安全を最優先に考え、最適な消防体制の構築に努めていく。

消防署の統合再編

答 市長 当面は現状施設を活用するが、将来的に施設維持に係る財政負担を考慮した上で、今後の施設の在り方について様々なご意見を承りながら検討を進めていく。

☐ 指定管理者…地方公共団体の施設を代行して包括的に管理する団体のこと。



不妊検査・不妊治療費補助対象年齢の緩和

むらた はるき
村田 春樹

録画映像

答弁 令和7年度より対象年齢を43歳まで引き上げる

問 不妊検査・一般不妊治療補助事業における補助対象者は35歳未満であり、他市町村と比べると後れを取っている。対象年齢の緩和を提案する。

答 福祉部長 現代における初婚年齢の上昇、いわゆる晩婚化の進行により出産年齢も上昇している。このことから、令和7年度より一般不妊治療の助成対象年齢を43歳未満とする予定である。

問 不妊治療費用は保険適用となったが、依然として高額な治療が多い。不妊検査に係る各補助事業の増額を提案する。

答 福祉部長 生殖補助医療における自己負担額の状況は、20万円以上を負担した夫婦が51%と全体の半数以上となっている。このことから、生殖補助医療に係る補助限度額を現行の10万円から20万円へ拡充する。

通学路の安全確保

問 羽鳥地内のケヤキ通り、イチヨウ通り、

カエデ通りは、交通量も多く、交差点付近の安全確保が重要である。通学路の安全確保のための街路樹の伐採、交差点のインパクトボラード(□)などの設置を提案する。

答 都市建設部長 街路樹伐採は本年度も実施し今後も計画的に除却を進める。インパクトボラードの設置については、交通安全関係機関と協議、調整を行い、ボラードの設置に向けて進めていく。

問 ケヤキ通りの自転車と歩行者道の安全性について問う。

答 都市建設部長 現在使っている道路空間を最大限活用し、道路幅員や自動車、自転車、歩行者の交通量、沿道の状況などに応じて速やかに安全な自転車通行空間を整備できるかが重要と考えている。ケヤキ通りの広い路肩は自転車通行帯に適しており、街路樹や植樹帯の在り方のほか、視認性や安全性などを検討しながら、自転車と歩行者が安全に通行できるような整備に努めていく。

□ インパクトボラード…車の衝突・衝撃を受け止め、人や建物から車両を守る棒状のポール



台湾との交流事業をどのように進めていくか

まいえ いさお
真家 功

録画映像

答弁 プロジェクトチームを立ち上げ交流促進に努める

問 台湾新北市淡水区との国際交流について、行政同士の交流にとどまらず、市民が参加する交流事業や中学生同士の英語でのオンライン交流などが重要であると考えているが、今後予定している事業を伺う。また、笠間市のように長期的・計画的な交流事業が重要と考えるが、今後の活動計画について市の考えを伺う。

答 副市長 令和7年度には、市民参加型の交流ツアーや淡水国民中学との対面・オンライン交流を計画している。活動計画については、庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、5か年の交流事業計画を策定し事業を進めていく。

要望 本年4月に中学が、本市を訪れる。ぜひこの機会にさらなる交流促進に努めていただきたい。議会としても全面的にバックアップしていく決意である。

高齢者支援について

問 認知症支援について市で現在行っている認知症施策を伺う。また、

介護サービスの需要増加に伴い、介護職員の人手不足が問題となっているが、介護人材の確保に関する市の取組状況について伺う。

答 福祉部長 認知症支援については、認知症への理解促進として、市民に対する認知症予防教室や認知症カフェのほか、安心して暮らせる地域づくりとして、認知症チームオレンジ(□)の立ち上げ支援などを実施している。介護人材の確保については、市内の関係事業所との情報共有と連携体制を図るとともに、介護資格の研修、若者等への介護職に対する魅力発信など、新たな人材確保の方策を進めるとともに、様々なアプローチにより、介護業種への理解とイメージ転換の促進に取組んでいく。

◎その他の質問

・障がい者、障がい児支援について(親亡き後の支援等)

・医療的ケア児支援について(ガイドライン策定の取組状況等)

□ チームオレンジ…認知症の方やその家族の生活支援ニーズと認知症サポーターをつなぐ仕組み



補聴器購入助成金の導入を

たむら まさお
田村 昌男



録画映像

答弁 効果を検証し、導入に向けて検討していく



▲補聴器（イメージ）

問

障害者手帳を持たない軽度難聴の高齢者に対する補聴器購入助成について、県内では既に10市町村が実施している。小美玉市も助成すべきと思うが、見解を伺う。

答

福祉部長 補聴器は適切に使用することで難聴を補正する効果があると認識している。高齢者に対する補聴器購入助成制度の導入は、新たな財源確保が必要となることから、実施自治体の導入効果を検証し、導入に向けて継続的に検討していく。

問

助成金に関しては最低でも5〜7万円ぐらいの助成をすべきと思うが、市長の見解を伺う。

答

市長 本市が目指す「高齢者の皆さんが生き生きと暮らせる地域づくり」に資する取組の1つであると考えているため、前向きに取組んでい

く。助成金額は議員が提案した金額に近づけるよう考えていく。

ため池・河川の整備

問

市内のため池、河川の整備について、令和2年3月の定例会で一般質問してから5年になる。5年前の答弁は「努力します」「検討します」であったが、5年かけてどれだけ検討して、努力されたか、その結果をお尋ねする。

答

都市建設部長 ため池整備は、防災重点ため池整備事業として年次計画により整備を進めており、「劣化状況評価」で改修が必要となった、羽刈の遠州池、中延の新池、飯前の東池の3箇所を順次改修する予定。河川の整備は、令和3年度は梶無川で部分的な除草を、令和4年度は花野井川、黒川、小曾納川、沢目川、十間川、鎌田川において、部分的に柵板護岸の補修を、令和5年度は大雨被害を受けた河川水路の法面・排水機能等の復旧を44箇所で実施した。今後も課題解消に向けて積極的に取組んでいく。



八幡池周辺の今後のビジョン

みやうち ゆうじ
宮内 勇二



録画映像

答弁 改めて地域ニーズを把握し利活用を検討していく

問

八幡池周辺の現状と課題、今後のビジョンについて市長に問う。



▲先後公園（八幡池周辺）

答

市長 八幡池は過去、毎年除草管理を実施している。周辺整備は平成24年に中断し、現在も事業は凍結している状況である。課題としては整備にあたって国の交付金を活用しているため当初計画からの用途変更または事業本来の目的を達成しない場合における当該交付金の取扱いが挙げられる。都市計画、公園として位置付けられているが、基本構想策定から15年以上経過し、社会情勢も大きく変化している。市政運営においては約10haの公

問

有財産の有効活用が重要であり、八幡池の利活用について、改めて地域ニーズの把握、自然環境や生態系への配慮を踏まえ、民間や県、関係機関と連携しながら検討を進める。

農業サポーター制度の導入

問

農業体験の現状と課題、農業サポーター制度（☑）について問う。

答

産業経済部長 市ではシビック・ガーデンを設置し、収穫祭などを開催しているが、利用者数や区画の減少が課題となっている。今後、利用率向上のため周知方法の工夫を進める。また、農業サポーター制度の導入については、関係機関とその必要性や役割を協議する。

要望

農業体験システムのさらなる強化と農業サポーター制度の導入を強く要望する。

☑ 農業サポーター制度…野菜づくりを学びたいなど考えている人がサポーター登録し、「人手が不足している」「農業に理解を持ってほしい」という農家の農作業をボランティアで手伝う仕組み



防災減災意識の醸成と広域防災訓練の実施を

やまざき はるお
山崎 晴生



録画映像

答弁 県と合同で防災力強化訓練を予定している

①全市民参加型防災フェスティバル開催で防災・減災意識の醸成を

提案

今後の防災訓練計画と、市議会との連携、自衛隊、消防、警察との共同訓練実施後の評価・参加者満足度・理解度に関する情報把握において、課題認識、今後の改善計画を伺う。

総務部長 アンケート調査では、「訓練の周知方法」や「本格的な避難所開設訓練開催」などの意見や要望があった。今年の5月に「災害対策本部設置訓練」や「情報伝達訓練」、「避難所開設・運営訓練」を県と合同で行う。市議会との連携については、情報の共有が極めて重要であると考えている。自衛隊や消防、警察との共同訓練においての実施内容の効果測定は、今後アンケート調査を実施し参加者の状況や課題の把握に努め、よりよい体制づくりを整えていく。

答 総務部長 アンケート調査では、「訓練の周知方法」や「本格的な避難所開設訓練開催」などの意見や要望があった。今年の5月に「災害対策本部設置訓練」や「情報伝達訓練」、「避難所開設・運営訓練」を県と合同で行う。市議会との連携については、情報の共有が極めて重要であると考えている。自衛隊や消防、警察との共同訓練においての実施内容の効果測定は、今後アンケート調査を実施し参加者の状況や課題の把握に努め、よりよい体制づくりを整えていく。

問 今後の防災訓練計画と、市議会との連携、自衛隊、消防、警察との共同訓練実施後の評価・参加者満足度・理解度に関する情報把握において、課題認識、今後の改善計画を伺う。

課題や問題点を補完しつつ、地域実情に合った認知症の方やご家族の目線を十分に取り入れた、実行可能かつ持続可能な市町村認知症施策推進計画(☑)作成を強く要望する。

要望

課題や問題点を補完しつつ、地域実情に合った認知症の方やご家族の目線を十分に取り入れた、実行可能かつ持続可能な市町村認知症施策推進計画(☑)作成を強く要望する。

答 福祉部長 共助拡充のため、チームオレンジ(☑)を運用し、活動の輪を広げていく。若年性認知症は相談に繋がらないケースが潜在する。相談窓口を含め若年層にも関連する病気であり普及啓発し支援に繋げていきたい。

問 小美玉市における認知症施策の課題と問題点を伺う。

- ☑ チームオレンジ…認知症の方やその家族の生活支援ニーズと認知症サポーターをつなぐ仕組み
- ☑ 市町村認知症施策推進計画…共生社会の実現に向けて様々な取組を位置付ける計画



誘致企業「朝日航洋」新拠点の立地について

ながつ としゆき
長津 智之



録画映像

答弁 ヘリのメンテナンスセンターが茨城空港隣接地に

令和7年6月頃に着工し、令和8年8月頃に竣工の予定。完成後、機材搬入等の作業に向けた準備を進め、

答

産業経済部長 建設工事については、令和7年6月頃に着工し、令和8年8月頃に竣工の予定。完成後、機材搬入等の作業に向けた準備を進め、

答 産業経済部長 令和7年度は、市が進入路及び上下水道などを整備していく。また、朝日航洋(株)は建屋工事に着手する。

問 造成工事等完成後の来年度以降のスケジュールについて伺う。

答 産業経済部長 進出予定地の造成工事は、年度内完成に向けて整備を進めている。また、地元雇用については、詳細な雇用計画は現時点では定まっていないが施設管理や設備点検に関する業務での雇用を検討していると伺っている。

令和9年4月に操業開始の予定である。メンテナンスセンターの規模は、延床面積約7300㎡、鉄骨造の事務棟及び格納庫の建設となり、ヘリコプターのメンテナンスセンターとしては、国内最大級の規模となる。

再質問

朝日航洋(株)メンテナンスセンターが移転すること、航空産業立地で新たな期待はあるか。

答 産業経済部長 朝日航洋(株)はメンテナンスセンターのほか、ビジネスジェットや航空撮影等多様な事業分野があり、この様な分野についても、本市への立地を働きかけ、横への展開を検討する。

令和9年4月に操業開始の予定である。メンテナンスセンターの規模は、延床面積約7300㎡、鉄骨造の事務棟及び格納庫の建設となり、ヘリコプターのメンテナンスセンターとしては、国内最大級の規模となる。

令和9年4月に操業開始の予定である。メンテナンスセンターの規模は、延床面積約7300㎡、鉄骨造の事務棟及び格納庫の建設となり、ヘリコプターのメンテナンスセンターとしては、国内最大級の規模となる。



▲エアロトヨタ格納庫イメージ
協力：朝日航洋株式会社

- ☑ 朝日航洋(株)…55機以上のヘリコプターとビジネスジェットで幅広い運航サービスを提供する会社



地域移行期における学校部活動について

やなか かずお
谷仲 和雄



録画映像

答弁 地域クラブとのよりよい連携の在り方を検討

問

学校部活動から地域クラブ活動(☑)移行までのプロセス(過程)及び学校部活動のあり方について問う。

答

教育長 各部活動の実態に応じて、合同チーム、拠点校、地域クラブへと段階的に移行し、地域展開していく。地域クラブ活動の更なる円滑実施に資するよう、学校関係者を含めた共通理解の促進を図るため、令和6年12月25日付で国より「部活動改革に伴う学習指導要領解説の一部改訂について」の通知があった。改訂の概要は、学校と地域クラブとの連携等に関する記載の新設、部活動の現状の位置付けの明確化、部活動における多様な生徒・ニーズへの配慮の3点。本通知に基づき、今後の部活動運営に当たり、引き続き、生徒の自主的・自発的な活動であるとともに地域クラブとのよりよい連携の在り方を検討していく。

要望

意欲ある生徒の受け皿となるよう要望する。

消防行政について

問

消防力の整備指針に基づく消防施設整備計画実態調査(☑)を踏まえ、市消防本部における現状と課題への対応を問う。

答

消防長 現在・課題は、職員数の不足や資機材の維持管理等で、消防・救急活動においては、消防車両のペアー運用での出動や部隊の載せ替え運用等に対応している。今後、消防力の整備指針に基づき計画的に整備を進める。



▶小美玉市消防本部
小川消防署

- ☑ 地域クラブ活動…部活動に替わるもので、学校と地域の連携により学生の活動の場を提供する
- ☑ 消防施設整備計画実態調査…消防庁が市町村の消防施設や人員の整備目標と実際の整備状況を調査する



災害被害を最小限に災害関連死ゼロを目指す

うちだ かずひこ
内田 和彦



録画映像

答弁 「命を守る TKB」を含めた整備を進める

問

災害時発災直後の避難所におけるトイレ設備をどの様に考えるか。また、衛生的にも臭わない「トイレトレーラー(☑)」の整備について現状を伺う。

答

総務部長 備蓄品として、本年度8000回分の携帯トイレを追加購入した。しかし、未だ県の基準からは不足しているため、今後も購入し、基準数量を確保して参りたいと考えている。「トイレトレーラー」整備検討については、様々な課題もある。



▶トイレトレーラー

ことから、導入については、慎重に検討して参りたい。今後とも、災害関連死ゼロを目指し、避難所における良好な生活環境の充実に向けて「命を守るTKB(☑)」を含めた整備を進めていく。

健康診断実施

問

児童生徒がプライバシー等に配慮された安心できる環境で、正確な検査・診察を受けることができる「健康診断」の実施が小美玉市の子どもたちにとって、重要であるが現在の状況について伺う。

答

教育部長 「正確な検査・診察に支障のない範囲で配慮する」と国の通知にある通り、各学校において、学校施設や教員体制に応じ、また、学校ごとに委嘱している学校医からの所見に基づき、それぞれ学校の実情に合わせた配慮が行われている状況である。

- ☑ トイレトレーラー…車でけん引するなどして移動可能な「移動設置型水洗トイレ」
- ☑ TKB…トイレ・キッチン・ベッドの略



地域おこし協力隊員の募集採用状況は

いしい あきら
石井 旭



録画映像

答弁 募集定員数を満たし4名を内定した



▲いちご（市内栽培）

問 令和6年度における地域おこし協力隊（Ⅱ）の募集は、内定者からの辞退もあり、残念ながら採用に至らなかった。このことを踏まえ、令和7年度の募集内容と応募・採用状況を伺う。

答 副市長 募集内容は高齡化等により農業従事者数が減少していることを地域の課題と捉え、「新規就農者」を目指す地域おこし協力隊を募集することとした。応募・採用状況については、「いちご・稲作」で新規就農を目指す地域おこし協力隊4名の募集に対し、8名の応募があり、面接等を実施し、4名の内定者を決定した。地域おこし協力隊の募集にあたっては、協力隊員の活動費用を考慮し、報酬額を増額している。

答 副市長 地域おこし協力隊へのサポート体制の構築は必須であると考えている。そのため、県や協力隊OB・OGが開催する研修会などへ積極的に派遣し、知識の習得や住民との交流方法などを学ぶとともに、他自治体の協力隊員と交流を深め、仲間を増やすことで長年に渡って活躍できるような環境を整えていきたいと考えている。



▲いちご・稲作農家（市内）

問 既に地域おこし協力隊を受け入れた自治体では、活動に対するイメージのギャップや地域になじみず孤立するなどの理由で短期間で退任するような事例が見受けられる。このことから、隊員へのサポート体制が必要と考えるが市の見解を伺う。

☑ 地域おこし協力隊…都市部から過疎地域に移住して、地域活性化のための活動を行う制度



子どもの遊び場（屋内を含め）の整備を

とだ だいが
戸田 大我



録画映像

答弁 子どもたちで賑わう遊び場づくりを進める



▲会派視察研修「日南市子育て支援センターことこと」の様子

問 新まちづくり構想計画などにおける、子どもたちの遊び場整備の計画は。

答 都市建設部長 令和7年度は百里飛行場エリアと羽鳥駅前エリアの事業化に向けた検討を進めるが、子どもの遊び場を含めた実施計画等の策定を行う。有識者会議や若者・子育て世代へのアンケート調査でも「屋内の遊び場」の意見があり、本市の魅力・ブランド力向上など、子育て世代を呼び込む、まちづくりにおける重要なコンテンツであると認識している。

要望

他の自治体を参考に、市ならではのコンセプトの詰まったものを作してほしい。

救急医療の
体制強化を

問 市の救急医療の体制と医師不足などの課題は。

答 保健衛生部長 周辺9市町村との連携で広域的な救急医療の体制の整備を図っており、周知についても広報紙やHPなどで掲示し、令和7年度も市民への幅広い周知を行っていく。医師不足に対しては、県知事へ要望書を提出し、未来の医療人材を育成するために、小・中学生に実際の医療現場に触れる機会を提供するなど、興味・関心を高める取組みを行っている。

要望

つくば市などが取組んでいる、休日や夜間でもオンラインで小児診療を受けられることで、尊い幼い命を救うことにも繋がると思われる。工夫して制度化してほしい。



▲つくば市休日夜間小児デジタル急患センター

◎その他の質問
消防職員の福利厚生について



八潮市の下水道管陥没事故を受けて

おにた たけや
鬼田 岳哉



録画映像

答弁 国要請以上の独自点検を実施、異常なし

問

陥没事故(☑)を受けて点検を含めた具体的な対応及び結果は。

答

都市建設部長 小美玉市は口径も経過年数も国・県の緊急点検基準に該当する管路が存在しなかったが、より厳格な独自基準での緊急点検を実施し、異常がないことを確認した。

問

類似事故が発生した際の体制は。

答

都市建設部長 大規模災害時には下水道機能を維持・回復するための「下水道BCP(☑)」に基づく。具体的には、実施すべき行動計画や、関連行政部局等との連絡・協力体制の構築等を策定している。

男女共同参画と
地方創生2.0

問

男女共同参画推進に向けた現状と今後の展開は。

答

市民生活部長 性別による固定的役割分担意識の解消をはじめとした、市民の男女共同参画社会に向けた理解が進んだと評価。しかし、まだ途上であることから、引き続き市民に対する意識醸成を図るとともに、具体的な各種体制の整備に向けて取り組んでまいり。

要望

国の「地方創生2.0(☑)」とリンクさせながら、育児・セミナーの実施や、女性起業・創業セミナー等、適正な事業を絞ったうえで持続可能な自治体の実現を念頭に置いて、具体的に取組んでいただきたい。

- ☑ 陥没事故…令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の陥没事故
- ☑ BCP…緊急事態発生時に被害を最小限に抑え、早期復旧させるための方法等をまとめた計画
- ☑ 地方創生2.0…国において、地方経済の自律的な成長と国民の生活環境向上を目指す取り組み



学校給食費無償化の安定的継続を

ふくしま
福島 ヤヨビ



録画映像

答弁 国・県に支援を要望し持続可能な体制づくりを目指す

問

学校給食の安定的無償化とおいしい給食を食べ続けられる対策は行われているか。

答

教育部長 給食費無償化が市町村単独事業でなく、国・県を挙げた取組となるよう、引き続き国・県に対して財政支援等の要望を続け、持続可能な体制づくりにつなげる。安定的な食料の確保を行い、国が定める学校給食摂取基準に基づき、引き続きおいしい給食を提供していく。

問

おみタク(☑)の試験運行が開始されるが、市外までの乗車は可能か。

答

都市建設部長 おみタクは、運行範囲を市内に限定することで買物や飲食店などの利用による地域経済の活性化に期待できることから、市外への利用は不可となる。市外への交通手段は、引き続き路線バスや既存のタクシー券をご利用いただきたい。

赤ちゃん全てに
祝い金を

問

出産祝い金について、滞納世帯には支給されないが、なぜすべての世帯に届かないのか。

答

福祉部長 出産祝い金事業は、加速する少子高齢化社会において、対象児童を出生した方またはその配偶者に対して支給される報償費と考えている。滞納のある方には、即座に不支給とせず、電話により納付期限等を説明することで、適正な給付に努めていく。

茨城空港あり方
検討会とは

問

非公開とされている当検討会で市長はどのような意見を言われたか問う。

答

市長 新まちづくり構想の交流拠点と茨城空港の連携強化、騒音問題などの地元意見を丁寧に確認すること、この2点を要望した。空港の機能拡張は様々な効果をもたらすことから、県にできるだけ協力していく考えである。

- ☑ おみタク…タクシー料金に応じて1回当たり500円又は1000円の利用者負担で残りの差額は市が負担する「定額タクシー」制度